

平成27年度公益財団法人青森県学校給食会事業報告書

公益財団法人青森県学校給食会は、学校教育活動の一環として行われている学校給食の円滑な実施及びその充実発展に努め、未来を担う子供たちの健全な心身の育成を図るとともに、学校や地域における食育の推進を支援し、県民の健全な食生活の実践に寄与することを目的として、平成27年度においては、次の事業を実施した。

I 学校給食用物資の安定供給及び学校給食の安全確保に関する事業

1 学校給食用物資の安定供給に関する事業

26年度決算額 (1,420,773 千円)

27年度決算額 (1,365,831 千円)

【青森県内における児童・生徒数】

区 分	26年度児童生徒数(人) (学校数)	27年度児童生徒数(人) (学校数)	前年度比 (%)
小 学 校	64,876 (310校)	62,719 (302校)	△ 3.32 (△ 2.58)
中 学 校	36,600 (163校)	35,769 (160校)	△ 2.27 (△ 1.84)
定時制高校 (夜間部)	155 (9校)	135 (7校)	△ 12.90 (△ 22.22)
特別支援学校	1,483 (16校)	1,450 (16校)	△ 2.22 (0)
合 計	103,114 (498校)	100,073 (485校)	△ 2.94 (△ 2.61)

児童・生徒数が前年度よりも3,041人(2.94%)減少し、基本物資及び一般物資の供給は、前年度と比較して供給実績表のとおりとなった。

(1) 基本物資供給のための事業

26年度決算内訳 (752,154 千円)

27年度決算内訳 (697,974 千円)

① 学校給食用パン等の供給体制の充実

小麦粉パン及び麺に青森県産小麦を、雪にんじんパンには雪にんじんペーストを練り込み、また、米粉パンに青森県産小麦・青森県産米を取り入れ、県産品の消費拡大を図り安定供給の推進に努めた。

県産小麦ゆきちからについては、作付面積が増加し、学校給食で年間を通して安定的に供給できる収量が見込まれることから、県産小麦ゆきちからを100%使用し更に食塩を減量したパンの商品開発に取り組み、平成28年度から新たな配合の小麦粉パン及び雪にんじんパンの供給を開始することとした。

小麦粉パンの供給数については、児童・生徒数の減少、雪にんじんパンの供給数が増となったこと等により、次の供給実績表のとおり、約250万個となり前年度と比較して約20万3千個（7.49%）減となり、小麦粉及び副原料も減となった。

雪にんじんパンの供給数については、供給実績表のとおり、約20万6千個となり前年度と比較して約10万6千個（104.98%）の増となり、パン全体に占める使用割合は6.3%となった。

また、米粉パンについては、米粉の原料代を負担し、小麦粉パンとの価格差の軽減を図り安定供給に努め、供給数は供給実績表のとおり、約56万2千個となり前年度と比較して約4万2千個（6.94%）の減となり、パン全体に占める使用割合も17.2%と前年度の17.7%と比較して減となった。

なお、青森県内におけるパン給食及び麺給食の実施平均回数は、パン給食は週0.82回、麺給食は週0.79回となっている。

【供給実績表】

区 分	単位	26年度供給実績	27年度供給実績	前年度比(%)	
内 訳	小麦粉パン	個	2,703,544	2,500,963	△ 7.49
	外国産小麦	Kg	83,646	76,954	△ 8.00
	県産小麦(ゆきちから)	Kg	83,646	76,954	△ 8.00
内 訳	雪にんじんパン	個	100,628	206,274	104.98
	外国産小麦	Kg	3,114	6,352	103.98
	県産小麦(ゆきちから)	Kg	3,114	6,352	103.98
内 訳	米粉パン	個	604,457	562,466	△ 6.94
	県産米粉	Kg	18,499	17,329	△ 6.32
	県産小麦(ゆきちから)	Kg	18,499	17,329	△ 6.32
麺用小麦(ネバリゴシ)	Kg	36,450	32,850	△ 9.87	
脱脂粉乳	Kg	6,129	5,657	△ 7.70	
ショートニング	Kg	12,942	12,076	△ 6.69	
砂糖	Kg	12,942	12,076	△ 6.69	
グルテン	Kg	9,020	8,531	△ 5.42	
雪にんじんペースト	Kg	1,557	3,176	103.98	

【パン全体に占める雪にんじんパンの使用割合】

雪にんじんパン供給数 206,274 個 ÷ パン全体の供給数 3,269,703 個 = 6.3%

【パン全体に占める米粉パンの使用割合】

米粉パン供給数 562,466 個 ÷ パン全体の供給数 3,269,703 個 = 17.2%

② 学校給食用米穀の供給体制の充実

学校給食用米穀は全て県産米とし、「青森県学校給食用米穀安定供給検討会議」（東北農政局青森地域センター・青森県農林水産部・青森県教育委員会・全農あおもり・県米穀集荷協同組合・当給食会）を設置して、安定供給を図るとともに、生産者団体からの助成により、良質低廉な学校給食用米の供給体制の充実に努めた。本県で米飯給食を実施している市町村は36市町村であり、当給食会が米穀を供給している市町村は34市町村、数量ベースで県全体の98.8%である。このうち、地元産米を使用している市町村は32市町村（内訳 つがるロマン14市町、まっしぐら18市町村）、県産米（つがるロマン）を使用している市町村は2市となっており、地元産米を使用している割合は、数量ベースで全体の92.2%である。

また、青森県産米需要拡大推進本部の御協力のもと、2014年産米食味ランキングで青森県産米初の最高評価「特A」を獲得した「青天の霹靂」を県内の児童生徒に味わって頂くこととし、11月9日から30日までの間、県内35市町村421校、県立特別支援学校等15校、国立大学附属小学校・特別支援学校2校の学校給食に提供した。

更に、学校給食用米穀の需要拡大への取組みとして、青森県内における米飯給食実施平均回数（米飯持参を含まない）が週3.18回（平成26年度）と全国平均の週3.40回（平成26年度）を下回っていることから、全農あおもり、県農林水産部とともに実施回数週3回の市部の教育委員会へ働きかけを行い、その結果、平成28年度から青森市及び五所川原市が米飯実施回数を増加することとなった。

学校給食用精米については、児童生徒数の減少等により、次の供給実績表のとおり、約1,038トンとなり、約42トン（3.93%）の減となった。

【供給実績表】

区 分	単位	26年度供給実績	27年度供給実績	前年度比(%)
精 米	K g	1,080,521	1,038,008	△ 3.93
つがるロマン(自校)	K g	359,730	326,369	△ 9.27
つがるロマン(委託)	K g	324,928	308,750	△ 4.97
小 計	K g	684,658	635,119	△ 7.23
まっしぐら(自校)	K g	119,870	129,231	7.80
まっしぐら(委託)	K g	275,993	263,798	△ 4.41
小 計	K g	395,863	393,029	△ 0.71
青天の霹靂(自校)	K g	0	4,127	—
青天の霹靂(委託)	K g	0	5,733	—
小 計	K g	0	9,860	—
米加工品(アルファ化赤飯)	K g	1,857	1,905	2.58

③ 学校給食用パン品質検査の実施

学校給食用パンについて、年2回、品質調査会を県教育委員会等の協力のもとに実施し、品質の向上を図り、学校給食の充実に努めている。

第1回目の調査では、前回と比較して最高点と最低点の差があまりなく一定の品質は保たれているものの、一部の検定で生地が発酵不足によるマイナス評価が見られた結果となった。

第2回目は、平成28年度から供給する新たな配合のパンの品質調査とし、県産小麦を購入している東北製粉協同組合を通して製パン技術アドバイザーに検査官を依頼して調査会を開催した。第1回目の調査と比較して全体的に評価が高く、新たな配合のパンとしても非常に良く出来ているものの、一部の検体で焼き色の均一性、生地が発酵状態にマイナス評価が見られた結果となった。

結果を踏まえ、検査官から伺った具体的な評価等を各パン工場へ通知し、評価が低かった検体を製造した工場には改善点を伝えて学校給食用パンの品質向上に努めた。

事業名	期日	開催場所	備考
学校給食用パン品質調査会	10月23日 3月10日	県学給	検査官 日清製粉技師 検査官 東北製粉協同組合 製パン技術アドバイザー

④ 学校給食用パン製造技術講習会の開催

学校給食用パンに青森県産品を取り入れた商品の開発に取り組むこととし、加工技術の向上と衛生管理の徹底を図ることを目的に製造技術講習会を開催し、学校給食の食事内容の多様化と地産地消の推進に努めている。

平成27年度は、県産小麦ゆきちからを100%使用し食塩を減量とした小麦粉パンの製造技術講習会を実施した。

事業名	期日	開催場所	備考
学校給食用パン製造技術講習会及び衛生管理講習会	7月28日	赤田パン	パン委託加工工場10社23名

⑤ 学校給食用牛乳代金の請求及び配分

牛乳代金配分機関として、牛乳代金の回収及び牛乳供給業者への支払いに係る業務を一元的に処理し、市町村教育委員会、牛乳供給業者の事務負担の軽減を図り、供給価格の安定に努めた。

学校給食用牛乳の需要については、児童・生徒数の減少等により、次の供給実績表のとおり1千953万2千本となり、70万7千本（3.49%）の減となった。

【供給実績表】

区分	単位	26年度供給実績	27年度供給実績	前年度比(%)
牛乳	千本	20,239	19,532	△ 3.49

(2) 一般物資供給のための事業

26年度決算内訳（668,619千円）

27年度決算内訳（667,857千円）

① 物資委員会の開催

県教育委員会、県学校給食センター連絡協議会、県学校栄養士協議会及び各地区連絡協議会の代表で組織する物資委員会を年3回開催し、価格・添加物等について協議を行い、安全で低廉な物資を公平・公正に選定した。

事業名	期日	開催場所	備考
物資委員会	7月6日 11月30日 3月7日	県学給	物資選定品 57品 (うち県産品16品)

② 物資展示会の開催

当給食会で取扱っている様々な学校給食用物資の安全性・品質等について理解をいただき、学校給食の内容の充実を図ることを目的に開催した。

事業名	期日	開催場所	備考
物資総合展示会	7月24日	県総合社会 教育センター	協賛メーカー31社

③ 学校給食用物資価格だより等の作成

当給食会取扱物資の価格、栄養価及びアレルギー物質等を明示した「学校給食用物資価格だより」を作成し、関係機関へ配布し、物資の理解を図った。

価格を公表していることにより、民間事業者の物資価格の指標となり、給食費が抑制され保護者負担の軽減につながった。

また、当給食会ホームページを通じて取扱物資の栄養価、原料産地、アレルギー物質等の内容や行事食等の情報を閲覧、印刷できるように「学校給食用物資検索システム」の開発を始めており、他県給食会の物資検索システムの運用状況等の視察を行い、システム開発を進めている。

④ 一般物資供給体制の充実

一般物資の取扱いについては、安全安心で美味しいはもとより少しでも低廉な物資の開拓と食物アレルギーに対応した物資の取扱いの充実に向けた取り組みを行っている。

また、北海道・東北ブロック学校給食用物資共同購入委員会では、平成27年度共同購入品目に新たに加工品（若竹信田、きのこ信田、焼ししゃも、照焼チキン）4品を加え、スケールメリットを活かし少しでも価格を安く購入する取り組みを行うほか、北海道・東北ブロックの全道県で取扱いできる食物アレルギー対応物資の開発を検討している。

平成27年度の一般物資売上額は、次の供給実績表のとおり、6億6千785万7千円と前年度と比較して76万2千円（0.11%）の減となった。

【供給実績表】

区 分	単位	26年度供給実績	27年度供給実績	前年度比(%)
一般物資	千円	668,619	667,857	△ 0.11

ア 巡回訪問の実施

学校給食実施校等を計画的に訪問し、取扱物資の安全性・品質等について情報提供を行うとともに、取扱物資に対する要望を伺い、連携の強化に努めた。(延べ787ヶ所：学校数延べ382ヶ所 センター数延べ405ヶ所)

イ 地場産品の取扱い

学校給食に「生きた教材」として、青森県の特産品（りんご・ほたて・牛肉・長いも等）が活用されるよう、県農林水産部、農協、漁連等と連携を図り、地場産品の商品開発に努めた。

平成27年度の地場産品の取扱いについては、昨年度に引き続き、県農林水産部、生産者団体等の協力をいただき、「ほうれん草」等の加工を行い供給した。県産食材の利用率の一層の向上を図るため、農水産加工品として「青森県産野菜だし入りつみれ」、「青森県産ホタテボール」、「いかメンチ」、「ほたてメンチ」の商品開発を行うとともに、地場産物加工品を製造できる県内工場の開拓等に取り組み、新たにむつ市の工場で製造している「イカリング竜田揚げ」、「いかめし」の提供を行った。

また、青森県産食材を使用した学校給食向け「だし商品」の取扱いの充実を図り、だしを活かした減塩の推進、「だし商品」の普及啓発に努めた。

当給食会で取扱いをしている地場産品は、187品（前年度175品）で、取扱一般物資全体に占める割合は、品目数ベースで約15.1%（前年度16.1%）、売上額ベースで約28.8%（前年度28.8%）となっている。

なお、当給食会では、青森県の農林水産物を年間を通して学校給食に活用できるように、県学校栄養士協議会OB会の会員の協力を得て、「地場産物活用推進検討会議」を設け、県内各地域の地場産物を活用した学校給食の献立レシピづくりを行い、学校給食用食材の供給の充実を図るための取り組みを進めている。

【青森県産使用商品取扱実績表】

商品名	数量	商品名	数量
【穀類】			
県産米粉乾燥ラザニア	139 kg	もち米	109.5 kg
サトウのごはん（つがるロマン）	145 個	米粉めん（そうめん）	1,045 個
米粉めん（うどん）	3,890 個	ひつつみ	212 Kg
焼おにぎり（醤油）	17,130 個	長いも入りひつつみ	917 Kg
【いも及びでん粉類】			
味付とろろ	9,245 個	長芋ダイスカット	182 Kg
【豆類】			
青森県産大豆水煮	2,351 Kg	冷凍豆腐	2,901 Kg

商品名	数量	商品名	数量
冷凍豆腐 (Lサイズ)	342 Kg	冷凍豆腐 (鉄分強化)	919 Kg
【野菜類】			
県産切り干し大根	2,595 袋	乾燥スライスにんにく	2 袋
乾燥ごぼうチップ (千切り)	2 袋	乾燥スライスごぼう (ささがき)	254 袋
できるだし (乾燥野菜だし洋風ミックス)	1,539 袋	できるだし (乾燥野菜だし和風ミックス)	1,590 袋
県産乾燥玉ねぎ	156 袋	カット野菜 (ごぼう・千切り)	4,564 Kg
カット野菜 (ごぼう・ささがき)	12,255 Kg	カット野菜 (ごぼう・乱切り)	1,244 Kg
たくあん漬	177 Kg	大根のしょうゆ漬	29 Kg
赤かぶ酢漬	253.5 Kg	きゅうりのしょうゆ漬	168.5 Kg
とう漬	92 Kg	七福神漬	855.5 Kg
冷凍グリーンアスパラガス	1,159 Kg	冷凍カリフラワー	649.5 Kg
冷凍嶽きみ (ホール)	1,370 Kg	冷凍かぼちゃ (乱切り)	588 Kg
冷凍かぼちゃダイスカット	1,580 Kg	冷凍かぼちゃペースト	1,180 Kg
冷凍ブロッコリー	4,445 Kg	冷凍ブロッコリー (茎ダイス)	937 Kg
冷凍ほうれん草 (IQF)	2,566.5 Kg	冷凍小松菜 (IQF)	2,943 Kg
ふかうら雪人参ダイスカット	44 Kg	ふかうら雪人参ペースト	1,077 Kg
冷凍ごぼう (ささがき)	1,661.5 Kg	冷凍ごぼう (千切り)	696 Kg
【果実類】			
ゼネラルレクラーク缶	411 缶	白桃角切り缶	306 缶
りんごダイス缶	738 缶	りんごダイス (10mmカット)	569 Kg
りんごジュース	13,984 個	カットりんご	354,894 個
カットりんご (スライス)	1,770 Kg	カットりんご (イチヨウ切)	94 Kg
カットりんご (千切り)	132 Kg	煮りんご (1/4)	3,800 個
生果りんご	11,762 個	しそ巻りんご	83 袋
すりおろしりんご	6 袋	アップルシャーベット	50,039 個
【きのこ類】			
新郷村産乾しいたけ (原木)	31 袋		
【藻類】			
すき昆布	546 袋	階上町産ふのり	29 袋
県産天然もずく	209 Kg		
【魚介類】			
できるだし (魚介ブレンドだしパック)	2,303 袋	平子煮干	724 Kg
ほたて貝柱水煮	602 Kg	ほたて丸ごと水煮	1,218 Kg
ほたてフライ	27,858 個	八戸産いわしのカレーパン粉焼き	2,350 個
八戸産いか団子甘酢あんかけ	5,030 個	八戸産いかハンバーグ	19,690 個
八戸産さば生姜煮	3,900 個	あおもりの鮫煮付け	12,440 個
津軽海峡ふか塩麴	3,200 個	ブリのクリスピーフライ (レモンペッパー味)	465 個
ブリのクリスピーフライ (源たれ味)	793 個	いなだフライ	18,805 個
とびうおハンバーグ	2,525 個	リカーサブール	182 Kg
いかボール (下足入)	4,225 Kg	冷凍ヤマト蛸	1,016 Kg
いかリング竜田揚げ	499 袋	ベビーほたて (100/150)	2,865 Kg
シーフードミックス (ベビー帆立)	148 Kg	ボイルイカリング (県産スルメイカ使用)	489 Kg
ホキ香草フライ (県産にんにく使用)	119 個	真鱈フライ	5,674 個
小川原湖産わかさぎフリッター	5 Kg	青森県産ほたてボール	92 Kg
味なほたて	85 袋	八戸産さば照焼	5,810 個
さば味噌軟らか煮	3,410 個	さば黒酢あんかけ	18,400 個
さばケチャップ煮	12,830 個	さば味噌軟らか煮 (白)	18,630 個
いわし黒酢あんかけ	250 個	いわしの香味野菜焼き	1,800 個

商品名	数量	商品名	数量
【肉類】			
若鶏のから揚げ	517 Kg	牛肉（スライス、ミンチ、細切）	4,471 Kg
豚肉（スライス、角切、ミンチ）	25,228 Kg	青森シャモロック唐揚げ	191 Kg
青森シャモロックもも正肉	43 Kg	青森シャモロックチキンカツ（塩コショウ）	48,971 個
青森シャモロックチキンカツ（みそ）	1,279 個	青森シャモロックチキンカツ（カレー）	1,690 個
青森シャモロック豆腐ハンバーグ	33,162 個	青森シャモロック焼き鳥井用	651 Kg
青森シャモロック鍋用ももムネカット	502 Kg	青森シャモロックチキンカツ（源タレ味）	4,396 個
青森シャモロックチキンカツ（バジル）	4,000 個	青森県産ヒレかつ	7,854 個
豚肉ロースかつ	6,695 個	豚肉の味噌味漬け	26 Kg
プルコギ用（味付牛肉）	428 Kg		
【卵類】			
味付ゆでたまご	66,907 個	ほたて入り厚焼玉子	76,410 個
帆立味噌貝焼き	446 個	嶽きみ入オムレツ	38,934 個
【乳類】			
牛乳（調理用）	9,959 本	青森県産のむヨーグルト	315 個
【菓子類】			
県産白桃ジュレ	738 Kg	プルプル雪にんじんゼリー	19,159 個
七夕アップルゼリー	254 個	Mayuミルクプリン	14,381 個
APPLE JELLY	3,078 個	ふっくら蒸しパン（スチューベン）	9,974 個
りんご入り肉まん	2,028 個	ふっくら蒸しパン（雪にんじん）	34,354 個
ふっくら蒸しパン（かぼちゃ）	9,943 個	球は落とさずほった落ちるミルクゼリー	7,314 個
りんごちゃん（ゼリー）	97,016 個	あおい森のかしわ餅	52,843 個
あおもりぷりん	60,092 個	給食週間フルーツゼリー	29,852 個
ゼネラルレクラークのジュレ	22,566 個	アップルクーヘンS（カップ入）	14,687 個
県産リンゴのクレープ	921 個	うさぎのお月見だんご	21,060 個
県産白桃のジュレ（カップゼリー）	31,072 個	焼き桜餅（県産米粉・小麦粉使用）	5,629 個
ふっくら蒸しパン（嶽きみ）	31,589 個	南郷産ブルーベリー大福	39,751 個
野菜果実ゼリー	11,815 個		
【調味料・香辛料類】			
津軽味噌	187.1 C/S	マルシチぐるめ味噌	36 Kg
カルシウム強化味噌	1,822.5 C/S	青森のお米で作ったカレールー	701 Kg
トマトピューレ	409 Kg	青森シャモロック8.5倍濃縮スープ	115.2 本
津軽（本醸造醤油）	414 本	スチューベンソース	54.1 L
冷凍おろしにんにく	2,110 袋		
【調理加工食品類】			
照焼ハンバーグ	24,960 個	県産かぼちゃコロッケ	21,002 個
いわしハンバーグ	26,246 個	野菜かき揚げ	11,048 個
つがるロマン野菜餃子	6,986 個	冷凍いかめし	702 個
青森シャモロック焼売	35,701 個	りんご入り焼売	9,310 個
味の時計台ギョーザ	3,306 個	県産ほたて入り餃子F e	8,490 個
ふれあい餃子	29,323 個	ホタテ焼売	119,861 個
肉団子のスチューベンソース煮	361 袋	青森県産原料ポークメンチ	40,396 個
青森シャモロック餃子	31,079 個	嶽きみ入りクリームコロッケ	48,670 個
倉石牛コロッケ	35,425 個	オールポークハンバーグ	14,842 個
りんご入り餃子	5,020 個	りんごたっぷりハンバーグ	43,380 個
野菜餃子	17,343 個	国産牛・豚ハンバーグ	7,440 個
磯餃子	9,637 個	青しそ餃子	23,811 個
れんこん餃子	16,146 個	青森りんごのキーマカレー	1,051 個

商品名	数量	商品名	数量
ほたて焼	233 袋	コーン焼売	131,126 個
アピオス入り野菜かき揚げ	2,610 個	お魚屋さんのギョーザ (するめいか)	2,301 個
アピオス&牛肉コロッケ	31,527 個	米粉皮 (つがるロマン) 肉餃子	58,305 個
嶽きみたっぷりコロッケ	42,286 個	米粉皮 (つがるロマン) 焼売	1,100 個
【パン添加物】			
ゼネラルレクラークジャム	26,241 個		
【ごはんの素】			
帆立御飯の素 (無添加)	401 袋		

2 学校給食の安全確保のための事業

26年度決算額	1,633 千円
27年度決算額	1,714 千円

(1) 学校給食用物資の安全性を確保するための食品検査等の実施

26年度決算内訳 (724 千円)
27年度決算内訳 (753 千円)

① 当給食会取扱物資の食品検査の実施

当給食会の食品検査室で定期的に食品検査 (一般生菌、大腸菌群及び大腸菌、黄色ブドウ球菌) を実施し、平成27年度は、取扱物資100品の安全性・品質等について確認を行い、検査結果は全てASLニュースで公表した。

② 当給食会取扱物資の放射能検査の実施

当給食会取扱物資が放射性物質に汚染されていないことを確認するため、放射線測定用サーベイメータにより、物資の納入時に検査を実施した。

また、青森県教育委員会が実施する「青森県学校給食検査整備事業」に基づき、放射線測定器の貸与を受け、当給食会取扱物資について週5品程度、及び特別支援学校等が希望する学校給食用食材の放射性物質検査を実施した。

平成27年度は、取扱物資216品を検査し、いずれも放射性物質は検出されなかった。当給食会取扱物資の検査結果は全て当給食会ホームページで公表した。

③ 残留農薬等の検査委託の実施

当給食会取扱物資について、計画的に外部機関への理化学検査 (残留農薬及び有機リン系) を委託し、安全性・品質等について確認している。

平成27年度は、一般社団法人青森県薬剤師会衛生検査センターへ青森県産冷凍野菜 (ほうれん草・カリフラワー) の残留農薬検査を委託し、安全性・品質等について確認した。

④ 取引業者からの検査証等の提出

給食会取扱物資について、取引業者から全ての取扱物資の全般的な規格書を始め、微生物、理化学検査等の検査証を提出させるとともに、特に原産地表示、アレルギー物質、遺伝子組換え、食品添加物、残留農薬を明記させ、安全性・品質等について確認した。

⑤ 学校給食委託加工工場の衛生管理の指導、立入検査の実施

学校給食用パン・米飯委託加工工場13社に示している「衛生管理マニュアル」をもとに、衛生管理の指導を行うほか、定期的に拭取り調査等の立入検査を実施し、衛生管理に対する意識の向上に努めている。

平成27年度の委託加工工場の衛生管理の指導については、7月28日開催の学校給食用パン製造技術講習会において、県健康福祉部保健衛生課に講師を依頼し「異物混入防止対策について」をテーマとした講習を行うほか、12月24日に青森市保健所に講師を依頼し、異物混入防止対策とノロウイルス対策について講習を行った。

また、定期的な立入検査については、赤田パン（青森市）等4工場において、拭取り検査等を実施した。

更に、異物混入事故が多発する委託加工工場には、青森市保健所及び八戸保健所に同行を依頼し、10月と12月に青森地区と三八地区の4工場に対し立入検査を行い、衛生管理に対する意識の向上に努めたほか、平成28年度新たに工場の衛生管理体制の強化を図るため、衛生管理費を充実することとした。

(2) 学校給食施設の衛生管理の支援

26年度決算内訳 (909千円)

27年度決算内訳 (961千円)

① 学校給食施設の拭取り検査の実施

学校給食施設の細菌検査・ATP（汚れの度合い）検査を実施し、その結果を報告するとともに、検査実施報告会を開催し、学校給食関係者の衛生管理に対する意識の向上を図っている。

平成27年度の拭取り検査については、六ヶ所村学校給食センター等37ヶ所の施設で実施した。また、検査実施報告会については、平内町学校給食センター等7ヶ所の施設から要請があり、実施した。

② 学校給食用検査器材の貸出

学校給食施設における食品検査や衛生検査を実施するため、検査器材の貸出を行っている。

平成27年度の学校給食用検査器材については、青森県立八戸聾学校等8ヶ所の施設に貸出を行った。

II 学校給食の普及充実及び食育の支援に関する事業

1 学校給食の普及充実のための事業

26年度決算額	5,027千円
27年度決算額	5,046千円

(1) 研修会及び調理講習会の開催

26年度決算内訳 (765千円)
27年度決算内訳 (681千円)

事業名	期日	開催場所	参加人員	備考
学校給食調理講習会	7月22日	県学給	名 35	東郡地区学校給食連絡協議会主催
学校給食センター所長研修会並びに栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会	7月24日	県総合社会教育センター	115	県教育委員会・給食会・県学校給食センター連絡協議会・県学校栄養士協議会主催
学校給食会物資総合展示会	7月24日	県総合社会教育センター	171	協賛メーカー31社
物資展示会・試食懇談会	7月30日	むつ来さまい館	56	下北地区連絡協議会主催
調理従事員衛生管理等講習会	8月10日	県総合社会教育センター	323	県教育委員会・給食会・県学校給食センター連絡協議会主催
学校給食献立コンクール	11月21日	県学給	47	県教育委員会・給食会・県学校給食センター連絡協議会・県学校栄養士協議会主催
栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会	12月25日	県総合社会教育センター	90	県学校栄養士協議会主催 給食会共催
学校栄養士協議会調理講習会	2月26日	県学給	61	県学校栄養士協議会主催 学校給食研究改善協会・ 全国学校栄養士協議会・ 給食会共催

(2) 学校給食関係団体等の行う研修事業への助成等

26年度決算内訳 (1,420千円)
27年度決算内訳 (1,420千円)

① 研究大会に対する負担金

助成事業名	助成金額	備考
青森県学校保健・安全・給食研究大会	300,000円	開催地：弘前市（11月11日）

② 学校給食関係団体等の行う研修事業への助成

助成団体名	助成金額	備考
青森県学校給食センター連絡協議会	200,000円	
青森県学校栄養士協議会	200,000円	
地区学校給食連絡協議会	720,000円	1地区 80,000円(9地区)

(3) 各種大会等出席者への助成

26年度決算内訳(1,341千円)

27年度決算内訳(1,162千円)

大会及び講習会名	助成金額	派遣人員	開催期日	開催地
第56回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	391,900円	3名	7月29日 ～7月30日	徳島県
第66回全国学校給食研究協議大会	769,780円	6名	11月5日 ～11月6日	高知県

(4) 学校給食に関する器材等の貸出

26年度決算内訳(1,257千円)

27年度決算内訳(1,617千円)

① 学校給食業務支援コンピュータソフトの貸与

栄養価計算や食のバランスなど児童生徒の栄養所要量の基準を管理するため、平成14年度から県内全ての栄養教諭等に「学校給食管理システム」を無償貸与し、重要な職務を支援するとともに、事務量の大幅な軽減に寄与した。(延べ62施設、76名利用)

② 冷凍庫の貸与

学校給食用物資の衛生管理に資するため、平成17年度から冷凍庫(5ヶ所対象)を無償で貸与し、児童生徒に安全な学校給食を提供できるように支援している。

平成27年度の冷凍庫については、板柳町立板柳東小学校等2ヶ所の施設が貸与を受けた。(延べ55ヶ所)

事業名	購入金額	助成対象事業者
冷凍庫無償貸与事業	670,000円	板柳町立板柳東小学校(10000) つがる市稲垣学校給食センター(13000)

③ バイキング給食用食器具の貸出

子どもたちに正しい食習慣を身に付けさせ、豊かで潤いのある食環境づくりを醸成し、学校給食の充実に寄与することを目的に、盛り付け用食器（大皿等）の貸出しを行っている。

平成27年度のバイキング給食用食器具については、三沢市学校給食センター等17ヶ所の施設に貸出を行った。

(5) 学校給食に関する情報提供

26年度決算内訳 (244千円)
27年度決算内訳 (166千円)

① ホームページ (<http://www.aogk.or.jp>) の充実

- ・ 学校給食会の概要、取扱物資の放射能検査の公表
- ・ 財務内容等の公告及び公開
- ・ センター連絡協議会、学校栄養士協議会、地区連絡協議会の事業内容等

② 学校給食情報の提供

- ・ 広報「ASLニュース」、ちょっと勉強室、商品案内等（毎月発行）の充実を図った。

2 食育の支援に関する事業

26年度決算額	4,986千円
27年度決算額	3,443千円

(1) 食に関する指導教材の貸出

26年度決算内訳	(103千円)
27年度決算内訳	(6千円)

学校給食に関する食育活動の一環として、授業への参画や個別指導、家庭・地域との連携事業等を行うための参考資料として、学校・食育関係団体等に貸出を行った。

① 県産品等のフードモデル（農水産物36種類、献立レプリカ3種類）

事業名	貸与対象数	備考
フードモデルの貸出	16ヶ所	平川市平賀学校給食センター等

② 食事バランスガイド モデルセットの貸出

事業名	貸与対象数	備考
食事バランスガイドモデルセットの貸出	3ヶ所	八戸市学校東地区給食センター等

③ 図書及び指導教材の貸出

事業名	貸与対象数	備考
DVD、ビデオテープ、紙芝居、図書の貸出	—	

(2) 食育活動に対する助成事業

26年度決算内訳 (2,348千円)

27年度決算内訳 (1,901千円)

① 学校給食関係団体が実施する食育活動に対する助成事業

学校給食関係団体が、食育活動を通して児童生徒の正しい食習慣と健全な発達を図るための事業に対し、経費の一部を助成し食育推進の支援を行った。

助成事業名	助成金額	助成対象事業者
学校給食関係団体食育活動支援事業	310,698円	東郡地区学校給食連絡協議会 外8団体

② P T Aが実施する食育活動に対する助成事業

食育推進事業の一環として、「地産地消」、「減塩」、「野菜摂取」をテーマとした食育活動に対し支援を行うこととし、P T Aが食育活動を実践するための事業に対して、経費の一部を助成し家庭の食生活の質的向上を図った。

事業名	助成金額	助成対象事業者
P T A食育活動支援事業	1,590,188円	平内町立小湊小学校P T A 外40団体 (参加人員2,304名)

(3) 学校給食献立コンクールの開催

26年度決算内訳 (418千円)

27年度決算内訳 (382千円)

地場産物を活用した食に関する指導の充実、学校給食に対する児童生徒の関心を高めるとともに、学校給食献立の質的向上を図るため、小・中学校並びに特別支援学校の児童生徒と栄養教諭・学校栄養職員及び調理従事員による学校給食献立コンクールを開催し、食育推進の支援を行っている。

平成27年度の学校給食献立コンクールは、21チームの応募があり、2次審査に進んだ10チームが、調理審査を行った。

また、コンクール作品の商品開発については、平成26年度献立コンクール作品の中から4品の商品開発を検討し、「ほたてのつみれ (青森県産ほたてボール)」が商品化され、平成28年2月から供給を開始している。

【献立コンクール日程】

審査日	開催場所	概 要
9月16日	県庁	第1次審査 応募数 21チーム（10校）
11月21日	県学給	第2次審査 10チーム（9校） ・最優秀賞 一高養ガールズ （青森県立青森第一高等養護学校） ・優秀賞 西小“新撰組” （青森市立三内西小学校） 浪岡南ヘルシー女子部 （青森市立浪岡南小学校）

【平成26年度献立コンクール作品 開発検討商品】

商品名	概 要
ほたてのつみれ （青森県産ほたてボール）	東北町立千曳小学校「クッキングクラブエイトレンジャー」 青森県産ほたてを使用したつみれ （平成28年2月より供給開始）
へっちょこミルク団子	青森県立八戸盲学校「南部のすけ2014」 青森県産の牛乳、かぼちゃ、雪にんじんを使用した団子
スチューベンゼリー	弘前市立百沢小学校「エイエンジェル」 青森県産（主に弘前）のスチューベンを使用したゼリー
ブヒブヒ長いも蒸しケーキ	東北町立千曳小学校「クッキングクラブエイトレンジャー」 青森県産長いもを使用した蒸しパン

（4）青森県農林水産物カレンダーの配布

26年度決算内訳（2,117千円）
27年度決算内訳（1,153千円）

子どもたちが実感を持って地場産物に理解を深め、県産品の愛用精神を育むとともに、食への感謝の念が醸成されるよう、青森県産農林水産物カレンダーを県内学校給食実施校に配布し、食育推進の支援を行った。

事業名	金額	備考
青森県農林水産物（地産地消） カレンダーの配布	1,152,022円	作成部数 6,200部 配布学校数 479校 配布学級数 5,788学級

Ⅲ 管理業務

1 業務運営費の抑制

コンピュータによる物資販売管理システムと財務管理システムを構築し、内部事務の合理化を図るとともに、印刷製本費等物件費の節減に努めた。

2 施設・設備の保守について

26年度決算額	1,823千円
27年度決算額	1,506千円

当給食会の施設設備は、設置33年が経過しており将来的に施設等を有効に活用するため保守点検を行い、計画的な修繕に努めている。

平成27年度の施設・設備については、年次計画に基づいて修繕を行い、冷凍設備点検については概ね5年毎に、塗装工事については概ね10年毎に実施し、修理箇所についても速やかな対応に努めた。

工事名等	金額	備考
冷凍設備点検等	848,334円	冷凍機オーバーホール及び空冷コンデンサー清掃等
車庫棟屋根及びシャッター塗装工事等	445,000円	車庫棟塗装工事及びシャッター修理
管理棟設備補修工事等	182,000円	ボイラー煙突架台塗装工事、電気プルボックス更新工事、ボイラー温水ポンプ修理等
フォークリフト部品交換	30,348円	油圧ホース交換

【参考資料1】

平成27年度における学校給食会主催事業等

1 学校給食会主催又は共催事業

No.	事業名	期日	開催場所	摘要
1	学校給食用物資検索システム運用状況等視察	4月16日	千葉県学給	
2	監査会	5月29日	県学給	
3	理事会	6月9日 11月18日 3月8日	アップルパレス アラスカ会館 アラスカ会館	
4	地場産物活用推進検討会議	6月19日 11月12日 2月15日	県学給	
5	評議員会	6月25日 3月22日	アップルパレス アラスカ会館	
6	物資委員会	7月6日 11月30日 3月7日	県学給	
7	調理講習会及び研修会 東郡地区 下北地区	7月22日 7月30日	県学給 むつ来さまい館	各地区協議会主催 給食会共催
8	学校給食センター所長研修会 栄養教諭・学校栄養職員夏季研修会	7月24日	県総合社会教育 センター	給食会主催 県教委・センター連絡協議会・学 校栄養士協議会共催
9	物資総合展示会	7月24日	県総合社会教育 センター	
10	学校給食パン製造技術講習会	7月28日	赤田パン	給食会・県学校給食パン協議会主 催
11	委託加工工場衛生管理講習会	7月28日 12月24日	県学給	給食会・県学校給食パン協議会主 催
12	一般物資工場視察	8月7日 ～8日	埼玉県 ジャパンスパイス 福島県 トーニチ	
13	調理従事員衛生管理等講習会	8月10日	県総合社会教育 センター	県教委主催 センター連絡協議会・給食会共催
14	青森県学校給食献立コンクール	9月16日 11月21日	青森県庁 県学給	県教委・給食会・センター連絡協 議会・学校栄養士協議会主催
15	パン品質調査会	10月23日 3月10日	県学給	給食会主催、県教委及び青森地域 センターの協力を得る
16	学校給食用米穀安定供給検討会議	10月28日 2月24日	青森県庁	給食会事務局（六者会議）
17	青森県学校保健・安全・給食研究大 会	11月11日	弘前市総合学習 センター	県教委・県学校保健会・弘前市教 委・西目屋村教委・給食会主催
18	栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会	12月25日	県総合社会教育 センター	学校栄養士協議会主催 給食会共催
19	学校給食センター所長会議	1月12日	県総合社会教育 センター	センター連絡協議会主催 給食会共催
20	地区連絡協議会代表者会議	2月8日	アラスカ会館	
21	学校栄養士協議会調理講習会	2月26日	県学給	学校栄養士協議会主催 学校給食研究改善協会・全国学校 栄養士協議会・給食会共催
22	パン加工賃等打合せ	2月29日	県学給	
23	指定とう精工場長会議	3月3日	県学給	

2 他団体が主催する行事等（県内）

No.	事業名	期 日	開催場所	摘 要
1	味感を育む「だし活」事業における商品開発企画会議	4月28日	青森県庁	県農林水産部主催
2	青森県だし活協議会	4月28日 9月2日	青森県庁	県農林水産部主催
3	県学校栄養士協議会総会	5月1日	県総合社会教育センター	県学校栄養士協議会主催
4	県学校給食パン協議会総会	5月15日 1月8日	アラスカ会館	県学校給食パン協議会主催
5	総合販売戦略・食産業推進委員会	7月23日 2月9日	ラ・プラス青い森	県農林水産部主催
6	青森県農政審議会	7月29日	青森国際ホテル	県農林水産部主催
7	青森県食の安全・安心対策本部会議	7月30日	ラ・プラス青い森	県農林水産部主催
8	三戸郡学校給食関係職員研修会	8月4日	五戸町公民館	三戸郡学校給食連絡協議会主催
9	地域食材活用促進に係る現地セミナー	8月4日	花岡農村環境改善センター等	県農林水産部主催
10	りんご供給に関わる打合せ会議	8月18日	青森県庁	県農林水産部主催
11	加工・業務用野菜現地検討会	8月26日	十和田合同庁舎	県農林水産部主催
12	学校給食における地場食材活用セミナー	11月18日	アスパム	都市農山漁村交流活性化機構主催
13	青森県食育推進会議	12月18日	ラ・プラス青い森	県農林水産部主催
14	セミナー de 「だし活」	2月26日	青森国際ホテル	県農林水産部主催
15	青森県食品衛生監視指導計画に関する検討委員会	3月15日	青森県庁	県健康福祉部主催
16	学校給食用牛乳推進協議会	3月16日	農協会館	県牛乳普及協会主催

3 他団体が主催する行事等（県外）

No.	事業名	期 日	開催地	摘 要
1	北海道・東北ブロック学校給食会常勤役員会議	5月21日 10月29日 ～30日 2月4日 ～5日	秋田県 宮城県 岩手県	秋田県学給主催 宮城県学給主催 岩手県学給主催
2	北海道・東北ブロック学校給食研究協議会	5月22日	秋田県	全給連・秋田県教委・秋田県学給主催
3	全給連定例総会	7月10日 2月19日	東京都	全給連主催
4	北海道・東北ブロック学校給食会合同職員研修会	7月16日 ～17日	福島県	福島県学給主催
5	全給連中堅職員研修会	7月28日 ～29日	東京都	全給連主催
6	第56回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	7月29日 ～30日	徳島県	文科省・徳島県教委・全学栄協・徳島県学給主催

7	北海道・東北ブロック学校給食会物資担当者研修会	8月 6日 ～7日	新潟県	新潟県学給主催
8	全給連実務担当者研修会	9月16日 ～17日	東京都	全給連主催
9	全給連マイナンバー取扱の実務セミナー	10月 1日	東京都	全給連主催
10	全給連事務局長・課長セミナー	10月 6日 ～7日	東京都	全給連主催
11	北海道・東北ブロック学校給食用物資共同購入委員会	10月15日 ～16日	山形県	山形県学給主催
		1月28日 ～29日	北海道	北海道学給主催
12	第66回全国学校給食研究協議大会	11月 5日 ～6日	高知県	文科省・高知県教委・高知市教委・全給連・高知県学給主催
13	全給連理事会	12月10日 2月18日	東京都	全給連主催

4 青森県学校給食センター連絡協議会主催事業（事務局：給食会）

No.	事業名	期日	開催場所	摘要
1	定例総会及び研究協議会	5月 7日	県総合社会教育センター	
2	学校給食センター所長研修会	7月24日	県総合社会教育センター	
3	学校給食センター所長会議	1月12日	県総合社会教育センター	

【参考資料2】

小・中学校 児童・生徒の推移

(単位：人)

年 度	60	元	5	10	15	20
小 学 校	142,919	126,502	114,467	96,646	88,111	78,983
中 学 校	76,793	71,011	63,808	57,297	46,471	43,348
合 計	219,712	197,513	178,275	153,943	134,582	122,331
増 減	0	-22,199	-19,238	-24,332	-19,361	-12,251
増 減 率	0	-10.10%	-9.74%	-13.65%	-12.58%	-9.10%

年 度	26	27	28	29	30	31
小 学 校	64,876	62,719	60,923	59,768	59,040	57,811
中 学 校	36,600	35,769	34,829	33,660	32,297	31,412
合 計	101,476	98,488	95,752	93,428	91,337	89,223
増 減	-20,855	-2,988	-2,736	-2,324	-2,091	-2,114
増 減 率	-17.05%	-2.94%	-2.78%	-2.43%	-2.24%	-2.31%

